

もりぎとかわうみ
栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言
取組事例集

栃木県

「奥日光清流清湖フォトコンテスト」入選作品

各市町の取組



宇都宮市



○もったいないフェア宇都宮におけるリユース食器の活用

もったいないフェア宇都宮は、ひと、もの、まちを大切にしているところである「もったいない」をテーマとして、CO₂削減及びゴミゼロのイベントを目指し、毎年「もったいない月間」である9月に開催しています。

例年、環境配慮型・参加体験型のブースが多数出展しており、飲食ブースでは、何度も繰り返し洗って再利用できる「リユース食器」の使用を徹底しています。使用済みの食器は、来場者にゴミの分別廃棄などの取組を実践してもらい「もったいないの家」で回収することで、3Rなどの意識向上にも努めています。このほか、レンタサイクルの100円引きや公共交通による来場を呼び掛けるなど、環境にやさしい交通利用の意識醸成にも取り組んでいます。

【問い合わせ先】 宇都宮市 環境政策課 TEL: 028-632-2404



足利市



○海洋プラスチックごみに関する動画の上映

2019年に開催された足利市消費生活展にて、海洋プラスチックごみ問題の啓発動画を上映し、来場者の皆様に呼び掛けました。

河川から海へ流出したプラスチックは小さくなくても無くなること、海中の有害物質と結びついて、海底に堆積したり魚などが食べてしまうこと、年々増加している海中のプラスチックごみの総重量が、2050年には海洋生物の総重量を超えてしまう可能性があることなどをお伝えすると来場者からは、「知らなかった」「勉強になった」との声をいただきました。

また、帰りにはマイバッグを配布し、改めてレジ袋の削減もお願いしました。

【問い合わせ先】 足利市 クリーン推進課 TEL: 0284-20-2141



さくら市



○マイボトルでちょっといいデスクワークを

さくら市ではペットボトルの廃棄を削減するため、庁内でマイボトルの使用を推奨しています。マイボトルの使用によりプラスチックの削減はもちろんのこと、自分のちょうどいい量の飲みものを用意することができるので、飲み残しを削減することができます。

また、マイボトルは保温効果も優れているので、「暑いときには冷たく」「寒いときには暖かい」ちょうどいい温度を保つことができ、いつでもおいしく飲むことができます。

気温の変化が激しい昨今、ぜひマイボトルを使用してプラスチックの削減と、ちょっといいデスクワークを実現してみてください。

【問い合わせ先】 さくら市 生活環境課 TEL: 028-681-1126



益子町



○益子焼で、プラスチックごみ削減

イベントに行って食事すると使い捨てプラスチック食器が使われていることが多くありませんか？

3年に1度秋に益子町で開催され、約4万6千人を動員した2018年の土祭（ひじさい）では、事務局が約1000枚の益子焼の器を用意し、来て頂いたお客様に益子町で採れた食材を使ったメニューを益子焼の器で楽しんでいただく「夕焼けバー」を4日間、3地区で行いました。

実際に食事をしたお客様の反応もよく、「益子焼で食べるご飯はおいしい」、「地元食材を選んでいきたい」「益子焼がほしくなった」などプラスチックごみの削減だけでなく、地元食材や益子焼のPRになるなど一石何鳥にもなる取組みです。

【問い合わせ先】 益子町 環境課 TEL：0285-72-8509



芳賀町



○芳賀町民祭で海洋プラスチック問題をPR

毎年11月に開催している芳賀町民祭で、令和元年度は環境ブースで政府広報などの協力を得て海洋プラスチックごみ問題についてのポスター掲示やプラスチック代替製品の展示を行いました。

また、環境ブースに来場した方にエコバッグや生分解性ストローを配布したり、フードコーナーの食器を使い捨て容器からリユースできる容器に変更したり、プラスチック製品の使用削減や環境問題についてPRし、多くの来場者に関心を持っていただきました。

今後は、芳賀町民祭以外のイベント等でもプラスチック製品の使用削減PRを行っていきます。

【問い合わせ先】 芳賀町 環境対策課 TEL：028-677-6041



那須地区レジ袋削減推進協議会 (那須塩原市・大田原市・那須町)



○コンテストを実施してレジ袋削減を啓発

那須地区レジ袋削減推進協議会とは、那須塩原市・大田原市・那須町の消費者、事業者、商工団体、行政が一丸となりレジ袋削減に取り組むため設立した協議会です。

本協議会では、例年マイバッグコンテスト及びレジ袋削減に関する標語コンテストを実施しています。小学校高学年（4～6年生）の部、中学生の部、一般の部の3つの区分で募集し、また、受賞者には賞状及び副賞を贈呈しています。

本コンテストでは、レジ袋削減推進及びごみの減量・資源化向上を図るため、創意工夫が施された世界で1つだけの作品を募集しています。



【問い合わせ先】 那須地区レジ袋削減推進協議会事務局（那須塩原市廃棄物対策課内） TEL：0287-62-7301

市町名	概 要	問い合わせ先	HP
栃木市	市広報紙等でのプラスチックごみ削減の周知、イベントでのマイバッグ普及啓発	環境課 0282-21-2141	 栃木市
佐野市	ごみ分別排出優良町会・努力賞町会の表彰、イベントでのマイバッグ普及啓発、環境美化活動実施団体への支援	クリーン 推進課 0283-23-8153	 佐野市
鹿沼市	市職員の分別の徹底、庁内会議でペットボトル飲料を原則廃止、プラごみゼロ運動に併せていちご市マイバッグを配布	環境課 0289-64-3194	 鹿沼市
日光市	日光市エコショップ等認定制度、マイバッグ・キャンペーン、白色トレイの拠点回収	環境課 0288-21-5138	 日光市
小山市	自治会による市内一斉清掃の実施、リユース食器利用促進事業補助金、資源物の分別回収・リサイクル	環境課 0285-22-9276	 小山市
真岡市	マイバッグの作成及び配布、市内一斉清掃、自治会へのごみ分別説明会の実施	環境課 0285-83-8126	 真岡市
矢板市	ペットボトルキャップ回収、発泡スチロールの回収、廃棄物監視員によるポイ捨てごみの回収	くらし安全 環境課 0287-43-6755	 矢板市
那須烏山市	マイバッグキャンペーン、シティプロモーショングッズ（エコバッグ）の作成・販売	まちづくり課 0287-83-1151	 那須烏山市
下野市	リユース食器利用促進事業補助金、庁内会議等でペットボトル飲料以外の利用推進、イベントでのエコバッグ配布	環境課 0285-32-8898	 下野市
上三川町	自治会へのごみ分別説明会の実施、イベントでのパネルの展示、町広報紙及び町HPにおいてプラスチック削減の周知	地域生活課 0285-56-9131	 上三川町
茂木町	白色トレイ・発泡スチロール・ペットボトルキャップの拠点回収	住民課 0285-63-5628	 茂木町
市貝町	町民一斉清掃、ごみ回収・再資源化を実施する団体等に奨励金を交付、レジ袋有料化・マイバッグキャンペーンの周知	町民くらし課 0285-68-1114	 市貝町
壬生町	環境美化運動における自治会ごとのごみ回収、町内小学校向けの社会科見学(清掃センター内)	生活環境課 0282-81-1834	 壬生町
野木町	ごみ分別講座、容器包装プラスチックの分別回収、環境美化運動、庁舎内におけるプラ容器の分別徹底指導	生活環境課 0280-57-4246	 野木町
塩谷町	マイバッグコンテストの実施	住民課 0287-45-1115	 塩谷町
高根沢町	マイバッグ・バスケット促進、リユース食器利用促進・移動式食洗器貸出、エコファミリー・ストア・オフィス認定	環境課 028-675-8109	 高根沢町
那珂川町	ペットボトルキャップ回収、ごみ分別の出前講座	生活環境課 0287-92-1110	 那珂川町

栃木県産の製品を使う



経木

赤松の木をスライスして作った環境に優しい自然の包装紙。匂いがなく食品に香りが移らないことに加え、抗菌効果もあることから、食品用の梱包材として昔から重宝されてきました。お弁当の仕切りなどにも利用できます。

(左写真) 秋葉木工所 (矢板市) TEL:0287-48-0606
(右写真) 島倉産業(株) (那須塩原市) TEL:0287-36-0049



麻ストロー・シノストロー

身近にある素材を利用した製品です。すべて天然素材のため最終的には土に還るなど環境に優しいのが特徴です。麻ストローは麻殻（麻の茎）を煮沸、洗浄し、乾燥させて作ります。木に似た手触りです。シノストローは自生したシノを加工し、蜜ろうを塗り、作ります。なめらかな仕上がりです。

(左写真) 麻ストロー：野州麻紙工房 野州麻炭製炭所 (鹿沼市) URL:<http://www.yashuasa.com>
(右写真) シノストロー：シノレボ (那須町) TEL:080-3320-4192



生分解性紙製おしぼり

海洋プラスチックごみ問題の対応が協議されたG20大阪サミットで採用されたエコシボが商品化されました。

国産天然素材100%を使用し、自然の中に放置すると、3ヶ月で土に還ります。また、丈夫な生地のため、水洗いしてふきんとしても再利用可能です。

包装は天然資源である木材パルプを原料としており、二酸化炭素の排出量を削減しています。

(株)サンテック (佐野市) TEL:0283-62-7111
URL:<https://www.osiborijp.com/>

紙製弁当箱

海洋プラスチックの問題を契機として、紙製中箱を開発したことで、プラスチックの使用量を大幅に削減することに成功しました。

型紙を抜き、折りたたみ、のり付けすることで製作しており、食材が触れる面には光沢のあるつるつるした加工を施すことで、煮物などの汁気やソースが多い食材でも、漏れにくい仕様です。

企画・販売：(株)北原産業、製造：(株)北原工業関東工場 (塩谷町)
URL:<https://www.starpac.co.jp/>

いまから取り組もう! 「プラス3R」

～3R (リデュース、リユース、リサイクル) に加えて～

リフューズ

R efuse 【判断する】

～不必要なものはきちんと断ろう～

リシンク

R ethink 【考える】

～本当に必要なものかよく考えよう～



そのレジ袋、スプーンやフォークは本当に必要ですか？



いらないモノを増やさない。

リファイン

R efine 【分別する】

～捨てるときには分別しよう～



リサイクルのことを考えて手間をかける。

栃木からの森里川湖 プラごみゼロ宣言

プラスチックは、わたしたちの生活に利便性と恩恵をもたらしてくれる有用な物質です。しかし、一方で、海に流れ出ると、長期間、環境にとどまり生態系にも影響を及ぼします。

海洋プラスチックごみは、山から川、川から海へとつながる中で発生するものであるため、上流の栃木県においても自分の問題として考えていく必要があります。

そこで、県と市町が連携し、不必要な使い捨てプラスチックの使用削減、再生材や生分解性プラスチックの利用促進、プラスチックごみのリサイクルと適正処理の徹底など、プラスチックとの上手なつきあい方を、栃木から発信し、森里川湖におけるプラスチックごみゼロに向け、行動することをここに宣言します。



栃木県
宇都宮市 日光市 那須塩原市 益子町 野木町
足利市 小山市 さくら市 茂木町 塩谷町
栃木市 真岡市 那須烏山市 市貝町 高根沢町
佐野市 大田原市 下野市 芳賀町 那須町
鹿沼市 矢板市 上三川町 壬生町 那珂川町

令和元(2019)年8月27日

令和2(2020)年度
栃木県環境森林部廃棄物対策課 028-623-3228